

月刊



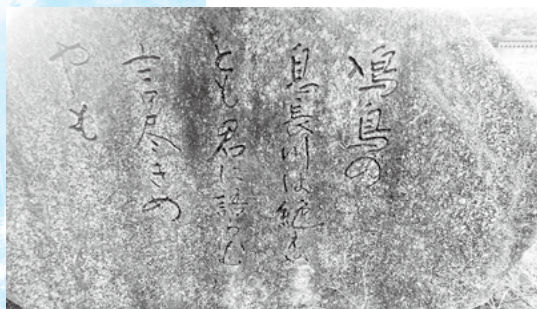
湖国が滋る・水と緑の街づくり

令和元年10月1日発行 通巻285号
昭和40年8月21日第3種郵便物認可
発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
〒520-0801
滋賀県大津市におの浜 1-1-18 建設会館 3F
TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

CONTENTS

- 青年委員会…………… 2
あーき塾Vol.1
～伝統工芸から学ぶ新たなモノづくり～
報告
…………… 3
- 令和元年建設事業関係功労
国土交通大臣表彰受賞報告
• 第56回建設界野球大会 報告
- 地区だより…………… 4
- 近畿建築士会協議会女性部会…………… 5
第五回 くらしとすまいを見つめる
セミナー
高齢社会とすまい お知らせ
- まちづくり委員会…………… 6
滋賀けんせつつみらいフェスタ2019
開催!
- 地区別会員数
- 10月の暦
- 滋賀 万葉の旅 第5回 米原市世継



米原市朝妻公園

「鳩鳥の 息長川は 絶えぬ とも
君に語らむ 言尽きぬやも」

【訳】

息長川はたとえ絶えてしまおうとも、
わが君に語りた言葉が尽きることがあ
りましょうか

【解説】 天平勝宝八年(756)3月7日、河内国の馬史国人が自邸に大友家持、大友池主の
客人2人を招いて宴をしていた時に詠んだ歌。古代国家の大きな影響を与えた息長氏を想
起し得る息長川(能登瀬川ともいう、現在天野川)は、三人にとっておおきな存在だった
のであろう。

【現在】 米原市朝妻の湖周道路付近にある。朝妻公園内に歌碑がある。 歌碑二一スより

あーき塾Vol.1

～伝統工芸から学ぶ新たなモノづくり～ 報告

9月7日(土)、あーき塾Vol.1～伝統工芸から学ぶ新たなモノづくり～を開催しました。当日は天候にも恵まれ、総勢17名の方に参加して頂き、湖西の蓬萊駅近くにある「中川木工芸 比良工房」で木桶職人の中川周士氏を講師に、木材を活かした伝統技術を学びました。

午前中は中川氏の講義があり、風呂桶をつくる家業から海外企業との共同作品をつくるまでの経歴、伝統的な桶の作り方や道具の種類、木の性質や箍（タガ：桶を締め固める金具）の構造を活かして、円だけではない楕円や内側にカーブを描いた物など、様々な曲線を組み合わせた形のものをつくる技術等の話を聞くことができました。シャンパンクーラーもこの技術を応用したもので、建築でいうアーチ構造に近いものでした。そのあと工房を見学して鉋、鑿、鋸等の多様な道具や今までの作品を拝見させていただきました。作品は実際に購入できるようです。

午後は、カトラリー（スプーン・フォーク・皿等の食器類）を一つの木片からつくる体験をしました。まずは鉋で加工しやすい大きさ・厚さに割っていきます。この時、節部分が変則的な形状になってスプーンの受けの部分に利用できます。次に電動ノコギリで大まかな形に切り取ったあと、カッターナイフや彫刻刀で細かい部分を整えていきます。カトラリーの形が出来上がってきたら、ヤスリで研磨して完成です。最後は皆の完成品を集めて記念撮影。一人一人違った形の個性的なものが並んで、多い人では3個もつくっている方もいました。

質疑応答では、スタッフである弟子の方々にも話を聞かせてもらったところ、中川氏の出身大学の後輩で、伝統技術に興味を持たれて工房に入られたそうです。建築業界も後継者を見つけることは難しいですが、伝統技術を受け継いでいくことが大事だと感じさせられました。

あーき塾はあと2回開催します、今回参加された方もされなかった方も是非とも参加よろしくをお願いします。

青年委員 寺田圭佑（大津地域会）



カトラリー完成



工房見学・講義



製作したカトラリーを手に集合写真

令和元年建設事業関係功労国土交通大臣表彰受賞報告



福谷晃副会長

この度、令和元年建設事業功労国土交通大臣賞をにおいて、本会副会長福谷晃氏が受賞されました。

住宅・建設事業関係において、その業務に精励するとともに、関係団体役員として建設業界の発展に寄与したことが認められ今回の受賞となりました。

誠に、おめでとうございます。

さる9月6日(金)夕刻には、建築士会関係者有志による、大臣表彰受賞祝賀会がびわ湖上に浮かぶ大型客船ピアンカ船上にて行われ、参加者からの盛大な祝福を受けられました。

誠に、おめでとうございます。



第56回建設界野球大会 報告

建築士会野球同好会は令和元年8月31日(土)に皇子山球場で開催された建設会野球大会に出場しました。事前の組み合わせ抽選で前年度に対戦した吉野組と1回戦で再戦する事が決まり月2回の練習も例年以上に力を入れて取り組みました。

試合では残念ながら前年の雪辱を晴らすことはできませんでしたが攻守ともに随所に好プレーが見られ日々の練習の成果を実感することができました。来年は結果を残せるよう更に練習に励みたいと思います。

応援していただいた皆さま、大会運営にご尽力いただいた皆さまにお礼申し上げます。

野球同好会では随時部員を募集しています。ご興味のある方は建築士会事務局までご一報お願いします。

青年委員会 中川祐樹 (湖東地区)



湖南地区

親睦・特別事業親子フォーラム (ネスタリゾート神戸)

令和元年7月24日(水)の報告をします。

大人22名 小学生以下14名で大型観光バス1台の日帰りでした。

大変暑い一日でした。来年も行いますので、宜しくお願いいたします。



車中の参加者



ネスタリゾート神戸前集合写真

彦根地区

撮影セット現場見学会 報告

令和元年7月25日(木)彦根市鳥居本町にて、撮影セット現場見学会を開催しました。

35度を超す猛暑と強い日差しの中、初めに撮影所を管理しておられる山甚建設(株)大依氏による概要説明、撮影セットを建築施工された(株)鈴木古建築 代表 鈴木氏による説明を受け、来年公開予定の映画の撮影に使われたセットを見学しました。

参加人数が予定人数を超える28名でしたので、2班に分け、大依氏、鈴木氏に案内していただきました。

約1時間撮影セットを見学し、通常の建築とは違い間仕切り壁が取り外しのきく方法で建てられていることや、発泡スチロールを用いて石積み壁に見せる技術など製作する際の工夫を詳しく解説していただきました。

山甚建設(株)様に撮影所を開設した主旨を伺うと、映画の撮影を誘致していくことによって、滋賀県と彦根の認知度を上げて地域活性化につなげていきたい、と言っておられました。

見学に際し、協力いただいた滋賀県建築士会青年委員会の皆様、場所の提供と解説していただいた山甚建設(株)様、(株)鈴木古建築様 ありがとうございます。



撮影所内にて、概要説明



撮影セットをバックに集合写真

湖北地区

家族で楽しめる!家族BBQ大会

8月25日(日)米原市多和田にあるローザンベリー多和田で、毎年恒例となってきました湖北地域会・同賛助会・施工管理技士会合同の「手ぶらで楽しめる!家族バーベキュー大会」を企画しました。朝から雲ひとつない晴天にめぐまれて、飲み物がどんどんすすみます。

楽しいBBQもさることながら、毎年パワーアップしていくローザンベリー多和田。

「ひつじのショーン」のリアルワールドや、夏休み限定の「びしょぬれ!ウォーターパーク」など、BBQ終了後も家族みんな閉園まで楽しむ大満足!夏休み最後の日曜日に最高の思い出となりました。

総勢60人の参加者からは「次回はいつあるの?」との声も聞かれ、来年以降も期待される恒例イベントとなっていくそうです。



煙モクモクBBQ



家族なかよし

高島地区

令和元年度 滋賀県総合防災訓練に参加協力

令和元年9月1日(日)午前7時00分に琵琶湖西岸断層帯を震源とする大規模地震が発生。

高島地域で震度7を観測し市内各所でライフラインが寸断され、建物の倒壊や火災により大規模な災害が発生したとの想定のもと、高島市民会館を中心として、地元住民や関係機関が参加し実施されました。

高島地区委員会より、応急危険度判定士8名を派遣し訓練のトップバッターとして避難所施設の安全確認を行い現場指揮本部に報告しました。

今後もこうした訓練を通じ、災害時における建築物の安全確認が速やかに行えるよう努めていきたいと思っています。



避難施設の安全確認中



応急危険度判定ステッカーの貼りつけ

2019
11/2
SAT

高齢社会とすまい

- 老いを知り 建築士ができることを考える -



セミナー
in 京都

在宅で生活する高齢者が増加するなか、住環境の充実は必要不可欠です。そこで、建築士の立場から高齢者やその家族にとって快適な住まいとは何かを考えていきます。また、自ら高齢者体験を通して高齢者の心と体を知り、これからの設計に活かしていただきたい。

第1部 13:00 ~

第2部 14:30 ~

講演

建築士の立場からみる福祉とは

福祉にかかわる職業は様々ななかで建築士としてのかかわり方を考える



講師：竹中美智子氏

愛知建築士会 / まちづくり委員会 / 福祉部会
部長 一級建築士 / 社会福祉士 / 介護支援専門員
日本女子大学家政学部住居学科卒業後、
某衛生陶器メーカーにてバリアフリーデザイン
などの空間プレゼンテーションを行い、1年間
イギリス・リバプールにてコミュニティ・アーキテクトについて体験する。
帰国後社会福祉の大学院に行き社会福祉士となる。コンサルタント会社
などを経て、2012年より株式会社 DEN 代表取締役、福祉用具貸与
事業所や設計事務所などを行っている。

体験

80歳になって 高齢者のココロとカラダを知ろう！

高齢者疑似体験プログラム『うらしま太郎』
を装着し“老いる”ということを知る



workshop

建築士として何ができるのか？

高齢者体験をとおして、建築士ができること
とはより良いすまいとは何か？を考える

とき 2019年11月2日(土)
13:00 ~ 17:00 (12:30 受付開始)

ところ ひと・まち交流館 京都 地下1階ワークショップルーム2
京都市下京区西木屋町通上ノ口上の梅湊町 83 番地の 1
(河原町五条下る東側)

定員 50名 ※先着順
参加費 学生 / 500円 会員 / 1,000円 一般 / 1,500円

服装 ベタ靴、パンツスタイル

CPD 4単位

締切 2019年10月20日(日)

申込 建築士会 HP のイベント申込フォームから
または、下記の建築士会事務局宛に FAX

主催 近畿建築士会協議会女性部会

当日連絡先 090-3354-6804 (建築士会携帯)



アクセス

[バス] 市バス 4, 17, 205 号系統「河原町正面」下車
[電車] 京阪電車「清水五条」下車 徒歩 8分
地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩 10分
[車] 立体駐車場 最初の1時間 410円以降 30分ごとに 200円

問い合わせ / 申し込み

(公社) 滋賀県建築士会
問い合わせ / TEL 077-522-1615

滋賀県大津市におの浜 1 丁目 1 番 18 号 建設会館 3 階

FAX 077-523-1602 HP 申込 <http://www.kentikushikai.jp/>

HP からお申し込みの方 ▶

※レクリエーション保険加入のため年齢を必ずご記入ください。※当日の連絡など本セミナーの連絡にのみ使用します。必ずご記入ください。

氏名 [才] 携帯番号

住所 府・県

CPD 番号

※いづれかに○

会員 / 一般 / 学生

※前日及び当日のキャンセルは、会費を後日請求させていただきます



滋賀けんせつみらいフェスタ2019開催！

今年度も「滋賀けんせつみらいフェスタ」が開催されます。このフェスタは地域社会の安全・安心を担う守り手としての建設産業を広くお伝えすることや、若者に建設業の魅力を発信することを目的として、今年度で4回目の開催となります。

(公社) 滋賀県建築士会は主催者の構成団体として参画し、ブースでは建築相談やDIY (簡単な木工) を通して物づくりの楽しさを感じていただき、将来の職業としての「建築士」の認知向上を目指します。

ぜひ、お立ち寄りください。

日時：令和元年10月19日(土)
10:00~15:30 (小雨決行)
場所：大津港前イベント特設会場
主催：滋賀県建設業魅力アップ実行委員会



地区別 会員数 令和元年 9月1日現在	支部	大津	湖南	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	湖西滋賀	計
	8月	202	153	80	105	84	135	64	24	847
	9月	202	151	80	106	84	135	64	24	846
差引	0	▲2	0	1	0	0	0	0	▲1	

士会入会申込者	
地区	氏名
湖東	小川 直也

10月の暦

1 火 大安		12 土 仏滅		20 日 赤口	
2 水 赤口	総務企画委員会 青年委員会	13 日 大安	一級・木造建築士「製図試験」	21 月 先勝	
3 木 先勝		14 月 赤口	体育の日	22 火 友引	即位礼正殿の儀の行われる日
4 金 友引		15 火 先勝	情報広報委員会	23 水 先負	
5 土 先負		16 水 友引		24 木 仏滅	
6 日 仏滅		17 木 先負	第2回「定期講習」(G-NETしが) 第2回監理技術者講習 (G-NETしが)	25 金 大安	
7 月 大安		18 金 仏滅		26 土 赤口	
8 火 赤口		19 土 大安	滋賀けんせつみらいフェスタ 2019 ヘリテージマネージャー上級 講座 第3回	27 日 先勝	
9 水 先勝	四役会・理事会			28 月 仏滅	
10 木 友引				29 火 大安	
11 金 先負				30 水 赤口	
				31 木 先勝	

滋賀 万葉の旅 第5回

米原市世継

「鳩島の息長川は 絶えぬとも 君に語らむ 言尽きぬやも」

米原市世継町にある蛭子神社歌碑。

世継と朝妻には湖北の七夕伝説が残っている。

朝妻神社にはかつて牛頭天皇社と呼ばれ境内の外に彦星の墓といわれる石が残っており蛭子神社には仁賢天皇の第二皇女・朝濡「おり姫」の墓がある。

両神社の間には、天野川(あまのがわ)が流れており朝妻橋が両神社をつないでいる。

男性は蛭子神社、女性は朝妻神社にお参りし、そして七夕の夜に二人の名前を書いた短冊を結び、天野川に流すと恋が成功するという。

これが、湖北の七夕伝説である。

